

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 12日

事業所名 西宮すなご医療福祉センターさくらんぼ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		定員5名だが感染症対策で4名までにして開所しています	
	2	○			
	3	○			
	4	○		感染症対策としてこまめな除菌清掃を行っています	
業務改善	5	○		保育士、看護師、OT職員など関わりのある職員が参加して話し合いを行っています	
	6		○		今年度からの事業のため評価を行う事が初めてであり今後頂いた意見を基に業務改善に努めます
	7		○		初年度のため
	8		○		第3者評価を行っていません
	9	○		施設内・外部の研修に参加しています	
適切な支援の提供	10	○		ニーズを確認した上で他職種で会議を開き話し合いを持ち作成しています	
	11		○	標準化されたツールは使用していないが他職種でアセスメントしています	
	12	○			
	13	○			
	14	○			
	15	○		季節の歌、行事を取り入れています	
	16	○		友達を意識した計画を取り入れるようにしています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		療育後に記録しています	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月ごとに見直しを行い家族にもフィードバックしています	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議の前に多職種で子供の現状について話し合ってから参加しています	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		主治医から情報を得ています	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		嘱託医が療育時必ず回診に来てくれます。また、主治医と連絡を取り合っています	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		今後その様な機会があれば積極的に参加し情報提供していきます
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		今後その様な機会があれば積極的に参加し情報提供していきます
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後関係を構築し、連携していきます
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		感染症拡大のため今はできない。今後検討します
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		他部署の職員が参加しているため、情報共有していきます
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		療育前後の時間などを活用して積極的に話をする様にしています	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		療育の中で行っています		
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に必ず説明しています		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会は行っていません。休憩時間や療育終了後の時間に保護者同士で情報交換ができる様な時間作りを考えていきます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		「さくらんぼだより」を毎月発行しています	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		感染症拡大のため今はできないが今後どの様なことができるか検討します
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	各種マニュアルは策定し周知しています。職員は施設の訓練に参加しています	保護者・利用児が参加する訓練は行っていません。今後職員が参加している訓練についてどのように発信していくか検討します
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	職員は施設の訓練に参加しています	保護者・利用児が参加する訓練は行っていません。今後親子クラスで訓練の参加を検討していきます
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		家族から情報提供してもらい資料として整理しています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修に参加しています	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。